こころの壁を越えて

このまちで、ともに歩む。

平成国際大学
日本語別科長
増古剛久（ますこたけひさ）さん

一橋大学大学院法学研究科国際関係論専攻博士課程修了。専門は国際関係論。今年の4月から平成国際大学の日本語別科長を務める。

平成国際大学では、日本と世界の橋渡しを担う人材を育成するため、留学生が日本語を学ぶ場として、今年度新たに「日本語別科」を設けました。久喜市に住む留学生も多く在籍しています。日本語別科長を務める増古剛久さんに、私たちがこれから多文化共生の時代を迎えるにあたり、持つべき意識などを伺いました。

多文化共生の楽しさと難しさ

多文化共生を考える前に、まず文化とは何かを考えてみると、地域の人々が長い歴史を経て育んできた有形無形のものだと私は思っています。

交流を増やし、分かり合う

多文化共生を実現する上で大切なのは、やはりまずはあいさつ。コミュニケーションをとることです。言葉があまり分からなくてもあいさつだけでいい、身振り手振りでも。一番大切なのは、こころの壁をつくらないことです。国レベルの話ですが、経済・社会・人的な交流が増えると、戦争が減ると言われています。それは人同士でも同じことだと思っていて、交流を増やし、交流のパイプを太くすることで、

一番大切なのは こころの壁をつくらないこと

それは日本人も外国人も持っていて、中にはゆずれないものや、外部の人間にはなかなか理解できないものもあるかもしれません。それをお互いに尊重して共生するというのは、楽しさもあり、難しさもあると思います。日本にも、外国人にとっては特殊な文化やマナーがありますから、長く日本で生活するのであれば、暮らしに慣れるまで努力や妥協は必要でしょう。また、ときには私たちも日本のルールをしっかりと説明したり、イラストを付けるなど相手に分かりやすい方法で伝えていくことは大事だと思います。

お互いに分かり合い、許し合える関係になっていくものだと思います。偏見や先入観を持ったところから始めてしまったら、理解し合う機会もなく、お互いにとって不幸ですよね。

困っていたら声かけを

日常生活の中で、外国人が困る場面というのはいろいろなところで出てきます。例えば各種手続きだったりとか。困っている場面を見たら、おせっかいでもいいから声をかけてあげてほしい。もし自分が異文化にいると仮定したら、地域に受け入れてもらえなかったら嫌ですよね。異文化との交流は、自分を客観的に見つめ直すきっかけにもなるんです。

やさしい日本語を使ってみよう！

日本語に不慣れな外国人には、噛み砕いた日本語で話しましょう。

（例）休校
↓
学校はありません

ゆっくり話す、短く言う、はっきり発音することも大切です！

誰もが自分らしく 安心して暮らせるまちへ

異文化との出会いは新たな学びや広い視野を得るきっかけになる一方で、私たちは自分たちと違うものに対して心理的な距離を感じ、ときには心を閉ざしてしまうこともあります。同じ日本人同士だって価値観が違うことがあるのですから、出身の国が違えば、その差はさらに大きくなるかもしれません。

でも、国籍や言葉、文化が違ったって、私たちは同じ人と人。お互いに歩み寄り、相手を知ることで、同じ一人の人間として親しみを感じることができるのではないでしょうか。多文化共生の定義に「対等な関係を築こうとしながら」とあるように、私たちに必要なのは、違いを認め合った上で、お互いに信頼関係を築こうとする姿勢そのものなのかもしれません。

ともに支え合いながら地域で暮らすこと―それは外国人にとっての暮らしやすさに直結するだけではなく、地域に新たな活力をもたらし、私たち自身の暮らしを豊かにすることにもつながります。

日本人も外国人も、誰もが久喜市（このまち）で自分らしく、安心して暮らせるように。お互いの違いを乗り越え、ともに歩みを進めるために、一人ひとりがこころの壁を越えて――。

2024年10月（ねんがつ） OPEN！

外国人市民相談窓口（がいこくじんしみんそうだんまどぐち）
Foreign Residents Support Desk

市役所（しやくしょ）で、生活（せいかつ）のこと、市（し）の手続（てつづ）きのこと、相談（そうだん）できます。

場所（ばしょ） 久喜市役所（くきしやくしょ） 3階（かい） 市民生活課（しみんせいかつか）
時間（じかん） 月曜日（げつようび）～金曜日（きんようび）（土（ど）・日曜日（にちようび）、祝日（しゅくじつ）はお休（やす）み）
9:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00

窓口（まどぐち）では 20言語（げんご）に対応（たいおう）！

問合（といあわ）せ 市民生活課（しみんせいかつか）自治振興係（じちしんこうがかり） 内線（ないせん） 2623・2651 ✉ shiminseikatsu@city.kuki.lg.jp

※電話（でんわ）ではやさしい日本語（にほんご）での対応（たいおう）となります。ご了承（りょうしょう）ください。